



栗の輸入

金額ベースで全国シェア **11年連続トップ**



令和5年9月20日
門 司 税 関

はじめに

秋を代表する味覚の一つである「栗」ですが、門司税関管内では、例年、9月から12月までの間、下関港を中心に韓国、中国から輸入されています。これらの栗は、主に日本国内で甘露煮に加工されるほか、栗まんじゅう、栗羊かん等の和菓子、モンブラン、マロングラッセ等の洋菓子や縁起物として正月用のおせち料理に欠かせない栗きんとんの材料として用いられています。

これからの季節に味わいたい「栗」の輸入について特集します。



栗について

栗はブナ科クリ属の落葉・高木性の植物で、その原生地はアジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカの四大陸にまたがり、北半球の温帯域の山野に広く分布しています。

栗は野菜ではなく、木になる果物です。トゲのあるイガの部分が他の果物でいうところの皮、表面の鬼皮と呼ばれる皮の部分が果肉、鬼皮を剥いた渋皮とその中身の部分が種に当たります。

栗の種類は、野生のシバ栗を改良した粒が大きく風味がよい日本栗のほか、小粒で渋皮がむきやすく、加熱すると甘味が増す中国栗、渋皮がむきやすくマロングラッセなどに使われるヨーロッパ栗、病虫害の影響でほぼ栽培されていないアメリカ栗の4つに分けられます。

栗は、縄文時代の遺跡から見つかり、当時の人々にとって重要な食料であると同時に栗の木は祭祀用の建物の建築材としても使用されるなど、古くから私たちの生活に身近な存在です。

その栽培は古く、京都の丹波地方で平安時代から始まり、現在では、沖縄県を除く日本全土で栽培されています。茨城県（24%）、熊本県（15%）、愛媛県（8%）、岐阜県（5%）（注1）が主要な産地となっており、これらの上位4県で日本全国の生産量の半分以上を超えています。

ちなみに日本では栗のことを「マロン」と呼ぶことがありますが、これは英語ではなくフランス語で、英語では「チェストナッツ（Chestnut）」と呼びます。

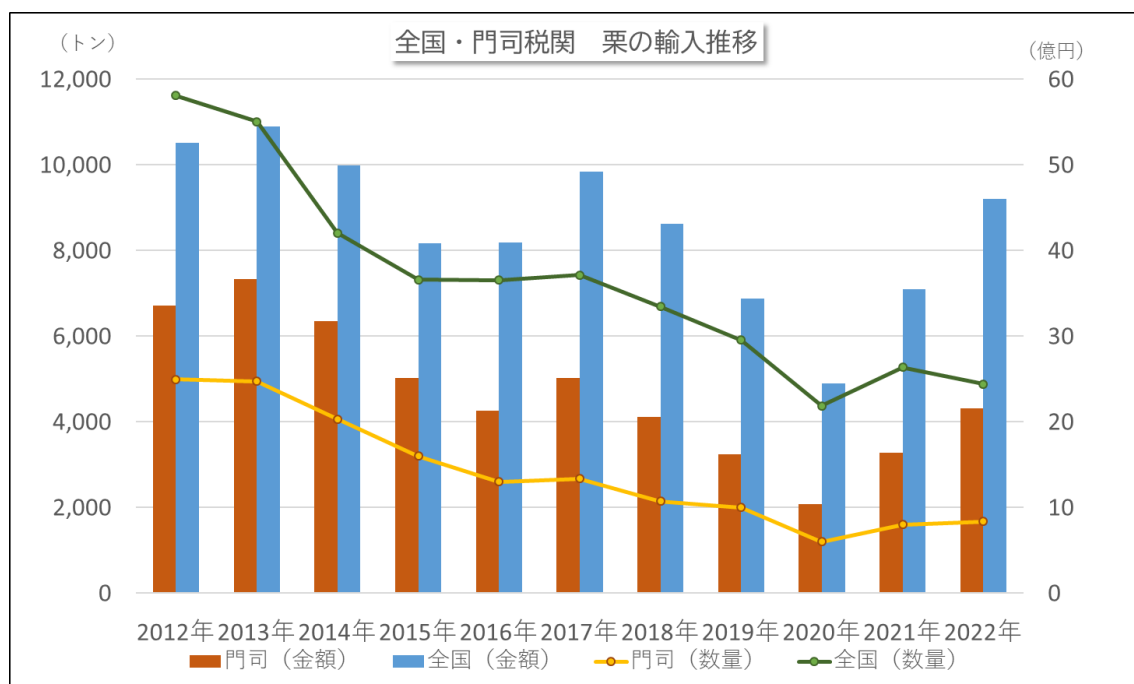
（注1）「農林水産統計 作物統計調査」（農林水産省）

輸入の動向

【推移】

全国における輸入実績推移を数量でみると、2012年は11,622トンでしたが、その後減少傾向で推移し、不作やコロナ禍の影響もあり2020年は4,375トン（対前年比74.0%）と5,000トンを割り込みました。その後は、2021年には5,273トン（同120.5%）、2022年には4,888トン（同92.7%）とほぼ横ばいで推移しています。

金額は、2012年は52億6千万円でしたが、一時的な増加はあるものの全体としては減少傾向で推移し、2020年は、24億5千万円（同71.2%）となりました。その後は、2021年には35億5千万円（同144.6%）、2022年には46億1千万円（同130.0%）と増加傾向で推移しています。数量がほぼ横ばいにも関わらず、金額が増加しているのは、天候等によるここ数年の不作の影響や物価高、栗の皮を剥く作業員の人件費の上昇による輸入単価の上昇が原因と考えられます。

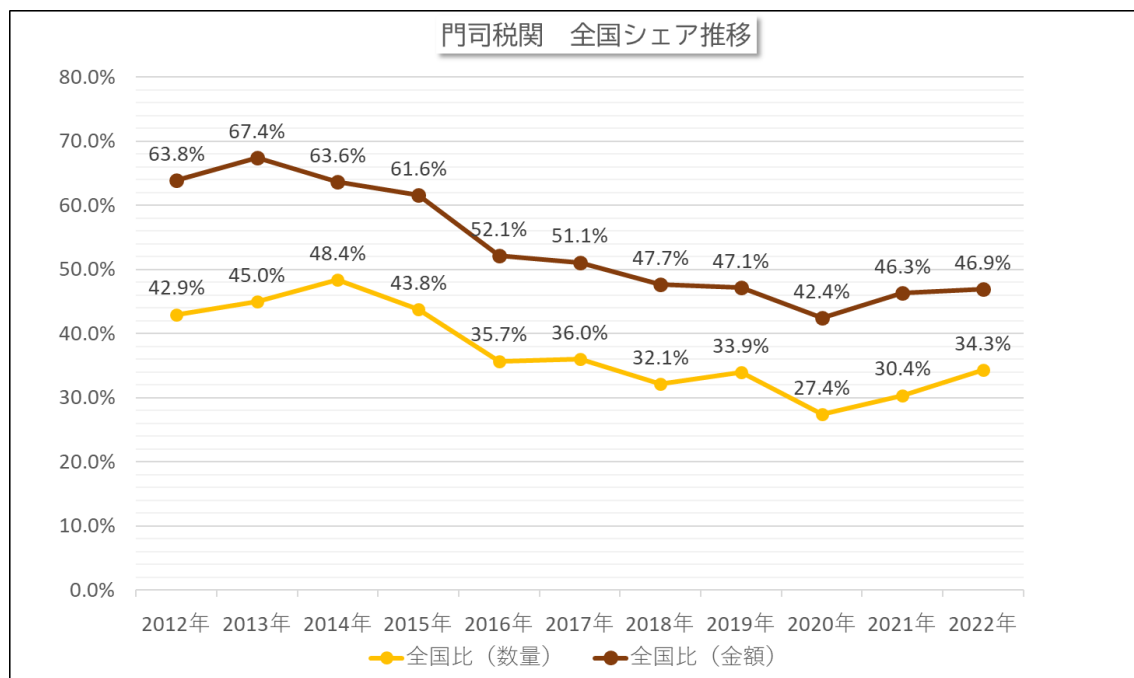


門司税関管内における輸入実績も数量、金額ともに全国実績と同様の推移となっており、2022年は、数量1,677トン（同104.8%）で全国シェア34.3%、金額は21億6千万円（同131.5%）で全国シェア46.9%となっており、数量は全国シェア第2位、金額は全国シェア第1位となっています。

なお、金額については、門司税関管内が2012年（平成24年）から11年連続で全国シェア第1位となっています。

門司税関管内で輸入される栗は、9割以上が水やみょうばん水に漬けたむき栗、1割弱が保存処理されたむき栗となっており、残りが殻付きのままの栗の順になっています。

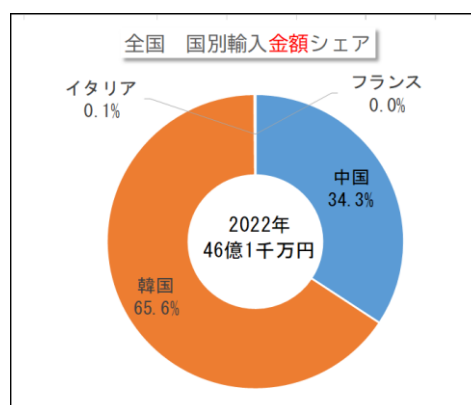
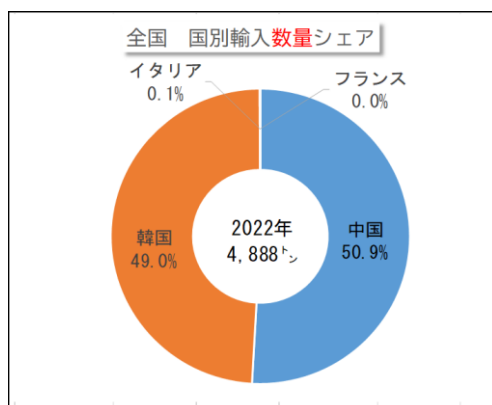
また、用途としては主に四国、九州の工場などで、甘露煮に加工されるほか、和洋菓子や、正月のおせち料理用の栗きんとんの材料などに使用されるとのことです。



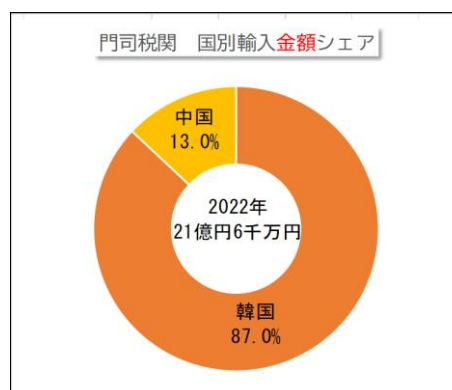
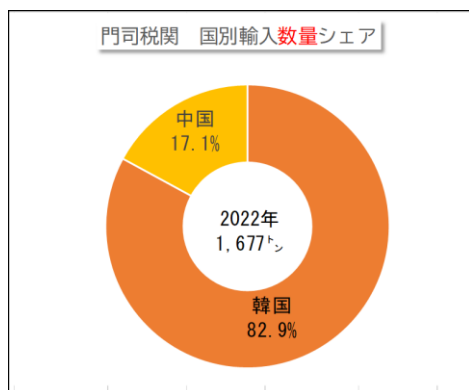
【国別シェア】

2022年の全国における国別シェアは、数量、金額ともに韓国、中国の上位2か国で99%以上を占めており、数量については、第1位中国（50.9%）、第2位韓国（49.0%）、金額については、第1位韓国（65.6%）、第2位中国（34.3%）となっています。

また、数量・金額ともにわずかではありますが、イタリア、フランスからも毎年恒常的に輸入されています。

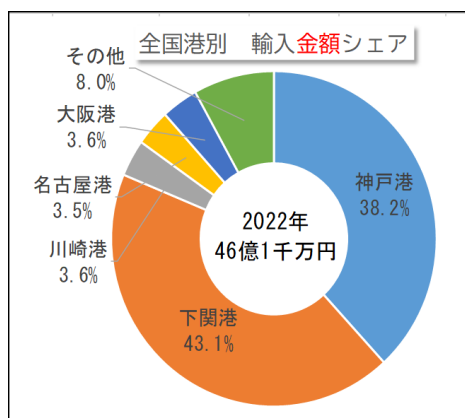
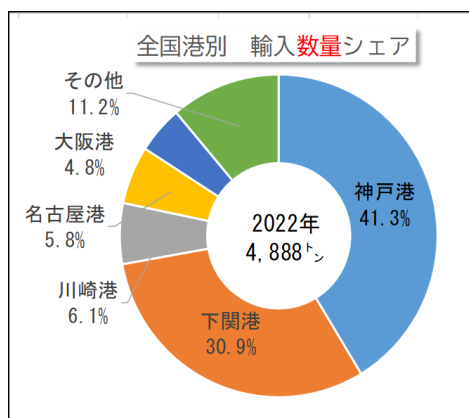


2022 年の門司税関管内における国別シェアは、数量、金額ともに、第 1 位韓国（数量：82.9%、金額：87.0%）、第 2 位中国（数量：17.1%、金額：13.0%）となっています。

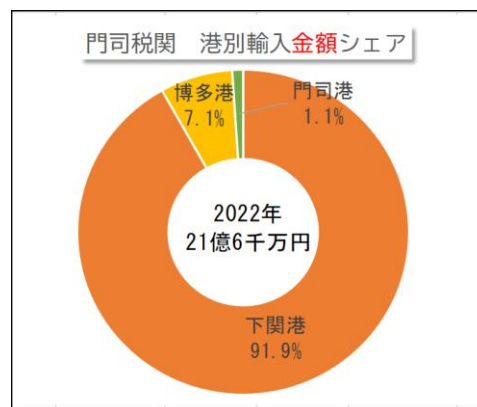
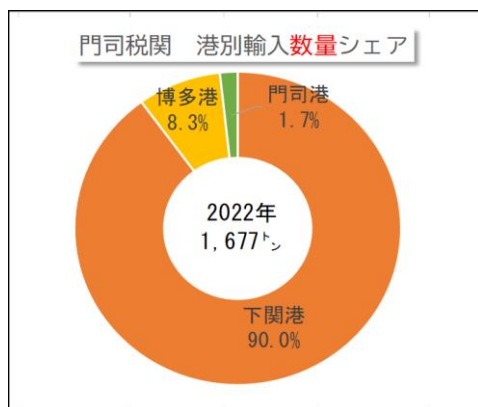


【港別シェア】

2022 年の全国における港別シェアは、数量については、第 1 位神戸港（41.3%）、第 2 位下関港（30.9%）となっていますが、金額については、第 1 位下関港（43.1%）、第 2 位神戸港（38.2%）となっており、この 2 港で数量、金額ともに全国の 7 割を超えています。



2022 年の門司税関管内における港別シェアは、数量、金額ともに第 1 位下関港（数量：90.0%、金額：91.9%）と 9 割を超えており、第 2 位博多港（数量：8.3%、金額：7.1%）、第 3 位門司港（数量：1.7%、金額 1.1%）の順となっています。



下関港のシェアが高い理由としては、

- ・韓国及び中国に地理的に近いことから、栗の鮮度が保持されること
- ・定期フェリーが就航しており、定時性に優れていること
- ・栗を加工する九州や四国の工場への配送に便利であること
- ・下関港は昔から捕鯨が盛んであったことから、冷蔵倉庫があること

などの要因が挙げられます。

おわりに

業界によると

- ・2020年にはコロナ禍の影響で需要が落ち込んだが、次第に回復傾向であること
- ・国内の栗の収穫量は、2014年に21,400トンであったが、2022年には15,600トン（注2）と減少し、国内産の栗の単価が上昇していることから、その代替品としての需要があること

などの理由から、今後も天候等の外的要因に左右されるところはあるものの、門司税関管内の「栗」の輸入は堅調に推移すると見込まれています。

（注2）「農林水産統計 作物統計調査」（農林水産省）

- ※ 本特集の「栗」は、輸入統計品目番号「0802.41-000：くり（カスタネア属のもの）殻付きのもの」、「0802.42-000：くり（カスタネア属のもの）殻を除いたもの」及び「0812.90-430：くり（カスタネア属のもの）一時的な保存に適する処理をした果実及びナット（そのままの状態では食用に適しないものに限る。）」を集計したものです。
- ※ 統計数値は2021年までは確定値、2022年は確々報値です。
- ※ 統計数値の単位未満は、四捨五入を行うため、総数の内訳の計が一致しない場合があります。

【本資料についての問い合わせ先】
門司税関 調査部 調査統計課
TEL 050-3530-8380
<http://www.customs.go.jp/moji/>



※本資料を引用する場合は、門司税関の資料による旨を付記して下さい。



【参考資料】

① 輸入推移（門司税関及び全国）

年		門司税関						全国					
		数量(kg)			金額(千円)			数量(kg)			金額(千円)		
			前年比	全国比		前年比	全国比		前年比		前年比		前年比
2012年	(H24)	4,991,159		42.9%	3,359,766		63.8%	11,622,409		5,262,709			
2013年	(H25)	4,951,032	99.2%	45.0%	3,671,414	109.3%	67.4%	11,010,221	94.7%	5,445,549	103.5%		
2014年	(H26)	4,071,552	82.2%	48.4%	3,177,343	86.5%	63.6%	8,413,615	76.4%	4,993,551	91.7%		
2015年	(H27)	3,204,777	78.7%	43.8%	2,514,594	79.1%	61.6%	7,320,624	87.0%	4,082,573	81.8%		
2016年	(H28)	2,607,393	81.4%	35.7%	2,133,443	84.8%	52.1%	7,309,546	99.8%	4,091,549	100.2%		
2017年	(H29)	2,677,677	102.7%	36.0%	2,515,480	117.9%	51.1%	7,433,128	101.7%	4,924,311	120.4%		
2018年	(H30)	2,147,458	80.2%	32.1%	2,055,906	81.7%	47.7%	6,693,197	90.0%	4,313,916	87.6%		
2019年	(R1)	2,003,410	93.3%	33.9%	1,622,892	78.9%	47.1%	5,909,616	88.3%	3,443,182	79.8%		
2020年	(R2)	1,199,620	59.9%	27.4%	1,039,515	64.1%	42.4%	4,374,522	74.0%	2,451,363	71.2%		
2021年	(R3)	1,600,798	133.4%	30.4%	1,642,085	158.0%	46.3%	5,272,526	120.5%	3,545,539	144.6%		
2022年	(R4)	1,677,140	104.8%	34.3%	2,159,938	131.5%	46.9%	4,888,172	92.7%	4,608,070	130.0%		

② 2022 年全国国別シェア

国		数量(kg)			金額(千円)		
			前年比	全国比		前年比	全国比
世界		4,888,172	92.7%	100%	4,608,070	130.0%	100%
	中国	2,487,762	83.5%	50.9%	1,579,828	136.9%	34.3%
	韓国	2,396,853	104.7%	49.0%	3,023,667	126.6%	65.6%
	イタリア	3,250	130.0%	0.1%	3,808	144.2%	0.1%
	フランス	307	53.4%	0.0%	767	77.9%	0.0%

③ 2022 年門司税関国別シェア

国		数量(kg)			金額(千円)		
			前年比	構成比		前年比	構成比
世界		1,677,140	104.8%	100%	2,159,938	131.5%	100%
	韓国	1,390,797	103.4%	82.9%	1,879,041	129.4%	87.0%
	中国	286,343	111.8%	17.1%	280,897	148.1%	13.0%

④ 2022 年全国港別シェア

港		数量(kg)			金額(千円)		
			前年比	全国比		前年比	全国比
全国		4,888,172	92.7%	100.0%	4,608,070	130.0%	100.0%
	神戸港	2,019,669	96.3%	41.3%	1,759,398	132.6%	38.2%
	下関港	1,508,825	109.2%	30.9%	1,984,399	136.1%	43.1%
	川崎港	297,820	60.8%	6.1%	163,837	104.7%	3.6%
	名古屋港	284,000	131.5%	5.8%	162,010	206.3%	3.5%
	大阪港	232,361	86.4%	4.8%	168,111	174.1%	3.6%
	その他	545,497		11.2%	370,315		8.0%

⑤ 2022 年門司税関港別シェア

港		数量(kg)			金額(千円)		
			前年比	構成比		前年比	構成比
門司税関		1,677,140	104.8%	100.0%	2,159,938	131.5%	100.0%
	下関港	1,508,825	109.2%	90.0%	1,984,399	136.1%	91.9%
	博多港	139,040	99.3%	8.3%	152,673	121.1%	7.1%
	門司港	29,275	37.1%	1.7%	22,866	39.5%	1.1%

⑥ 全国港別輸入推移（数量）

年	数量(kg)	神戸港		下関港		川崎港		その他	
		数量(kg)	全国比	数量(kg)	全国比	数量(kg)	全国比	数量(kg)	全国比
2012年	11,622,409	2,693,324	23.2%	4,439,676	38.2%	1,575,541	13.6%	2,913,868	25.1%
2013年	11,010,221	2,527,730	23.0%	4,236,176	38.5%	1,380,480	12.5%	2,865,835	26.0%
2014年	8,413,615	2,026,356	24.1%	3,842,422	45.7%	925,760	11.0%	1,619,077	19.2%
2015年	7,320,624	1,813,253	24.8%	3,038,934	41.5%	580,960	7.9%	1,887,477	25.8%
2016年	7,309,546	2,440,693	33.4%	2,413,424	33.0%	900,320	12.3%	1,555,109	21.3%
2017年	7,433,128	2,706,155	36.4%	2,382,711	32.1%	708,040	9.5%	1,636,222	22.0%
2018年	6,693,197	2,402,969	35.9%	1,825,410	27.3%	764,540	11.4%	1,700,278	25.4%
2019年	5,909,616	2,123,869	35.9%	1,755,749	29.7%	626,420	10.6%	1,403,578	23.8%
2020年	4,374,522	1,813,649	41.5%	977,208	22.3%	498,340	11.4%	1,085,325	24.8%
2021年	5,272,526	2,096,722	39.8%	1,381,915	26.2%	489,710	9.3%	1,304,179	24.7%
2022年	4,888,172	2,019,669	41.3%	1,508,825	30.9%	297,820	6.1%	1,061,858	21.7%

⑦ 全国港別輸入推移（金額）

年	金額(千円)	神戸港		下関港		川崎港		その他	
		金額(千円)	全国比	金額(千円)	全国比	金額(千円)	全国比	金額(千円)	全国比
2012年	5,262,709	781,267	14.8%	3,161,335	60.1%	426,751	8.1%	893,356	17.0%
2013年	5,445,549	748,559	13.7%	3,315,032	60.9%	365,138	6.7%	1,016,820	18.7%
2014年	4,993,551	897,881	18.0%	3,050,946	61.1%	345,961	6.9%	698,763	14.0%
2015年	4,082,573	710,909	17.4%	2,406,653	58.9%	208,710	5.1%	756,301	18.5%
2016年	4,091,549	1,124,015	27.5%	2,024,705	49.5%	310,974	7.6%	631,855	15.4%
2017年	4,924,311	1,576,962	32.0%	2,248,255	45.7%	268,034	5.4%	831,060	16.9%
2018年	4,313,916	1,402,781	32.5%	1,772,545	41.1%	269,116	6.2%	869,474	20.2%
2019年	3,443,182	1,126,263	32.7%	1,439,052	41.8%	236,865	6.9%	641,002	18.6%
2020年	2,451,363	939,721	38.3%	858,372	35.0%	154,390	6.3%	498,880	20.4%
2021年	3,545,539	1,326,758	37.4%	1,458,157	41.1%	156,460	4.4%	604,164	17.0%
2022年	4,608,070	1,759,398	38.2%	1,984,399	43.1%	163,837	3.6%	700,436	15.2%

⑧ 門司税関港別輸入推移（数量）

年	数量(kg)	下関港		博多港		門司港	
		数量(kg)	構成比	数量(kg)	構成比	数量(kg)	構成比
2012年	4,991,159	4,439,676	89.0%	58,080	1.2%	493,403	9.9%
2013年	4,951,032	4,236,176	85.6%	55,840	1.1%	659,016	13.3%
2014年	4,071,552	3,842,422	94.4%	42,850	1.1%	186,280	4.6%
2015年	3,204,777	3,038,934	94.8%	60,752	1.9%	105,091	3.3%
2016年	2,607,393	2,413,424	92.6%	99,489	3.8%	94,480	3.6%
2017年	2,677,677	2,382,711	89.0%	119,000	4.4%	175,966	6.6%
2018年	2,147,458	1,825,410	85.0%	160,000	7.5%	162,048	7.5%
2019年	2,003,410	1,755,749	87.6%	122,999	6.1%	124,662	6.2%
2020年	1,199,620	977,208	81.5%	130,000	10.8%	92,412	7.7%
2021年	1,600,798	1,381,915	86.3%	140,000	8.7%	78,883	4.9%
2022年	1,677,140	1,508,825	90.0%	139,040	8.3%	29,275	1.7%

⑨ 門司税関港別輸入推移（金額）

年	金額(千円)	下関港		博多港		門司港	
		金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比	金額(千円)	構成比
2012年	3,359,766	3,161,335	94.1%	16,247	0.5%	182,184	5.4%
2013年	3,671,414	3,315,032	90.3%	15,540	0.4%	340,842	9.3%
2014年	3,177,343	3,050,946	96.0%	17,929	0.6%	108,468	3.4%
2015年	2,514,594	2,406,653	95.7%	43,333	1.7%	64,608	2.6%
2016年	2,133,443	2,024,705	94.9%	61,452	2.9%	47,286	2.2%
2017年	2,515,480	2,248,255	89.4%	100,122	4.0%	167,103	6.6%
2018年	2,055,906	1,772,545	86.2%	135,906	6.6%	147,455	7.2%
2019年	1,622,892	1,439,052	88.7%	87,651	5.4%	96,189	5.9%
2020年	1,039,515	858,372	82.6%	107,081	10.3%	74,062	7.1%
2021年	1,642,085	1,458,157	88.8%	126,029	7.7%	57,899	3.5%
2022年	2,159,938	1,984,399	91.9%	152,673	7.1%	22,866	1.1%

